

1. なぜ、いま「支えあい」が必要なの？

今後、あま市でも、ひとり暮らし高齢者や高齢者のみ世帯、要介護高齢者が増加し、医療・介護サービスへのさらなる需要も増えると考えられます。同時に介護が必要な高齢者の在宅生活は、いっそう困難になると予想されます。

【支えあいの地域づくり】を推進し、住民同士で介護予防や助けあいを充実していくことが求められています。



2. あま市の高齢化率は？

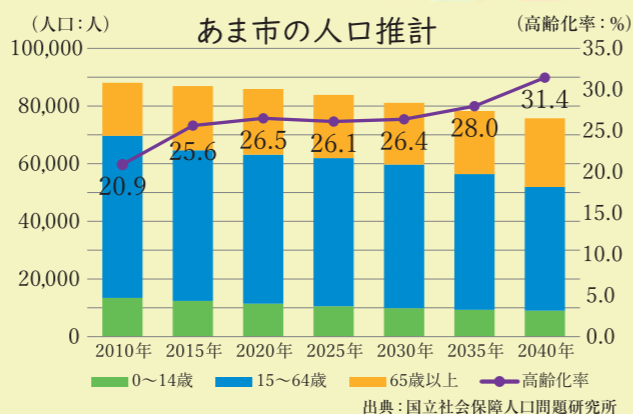
《あま市》

26.0% (2020年4月)

3.8人に1人が65歳以上!!

《地域別の高齢化率》

- 七宝地区 30.8%
- 美和地区 28.2%
- 甚目寺地区 22.6%



少子高齢化、人口減少などにより、将来の担い手不足が深刻になり、公的なサービスや制度だけでは、対応することが困難になってきます!

3. 協議体ってなあに? = (支えあい会議)

◆どんな話しあいをするの？

既にある支えあい活動など地域の情報を共有したり、将来に向けて「自分たちのまちをどのような地域にしたいか」などアイデアを出しあっています。

その中で住民同士のつながり、見守り活動、茶話会や介護予防による居場所づくりなど、その地域ならではの支えあいの仕組みづくりをできる範囲で考えていきます。



七宝地区協議体



ささえ愛♡美和
～笑顔あふれる美和の郷～
(美和地区協議体)



まちかどかつや～くネットワーク甚目寺
(甚目寺地区協議体)

4. 「各地区の協議体 (支えあい会議)」の紹介

七宝地区協議体

「スローガン」 ～おもいやり つながり輝く 七宝地区～

「七宝地区協議体」では、地域のお宝探しをする中で、地域にはさまざまな支えあいの活動があることに気づきました。今後は、七宝地区の「お宝冊子」を作成する予定です!!



七宝地区協議体 メンバーより ひとこと!

七宝地区協議体では、8地域で自慢の「地域のお宝探し」を行いました。協議体メンバーの話や中々で友人やご近所との関わりがどんなに大切か肌で感じています。



ささえ愛♡美和 ～笑顔あふれる美和の郷～

「ささえ愛♡美和」では、メンバーの地域をめぐり日々の活動や地域の伝統的なモノやちょっと良いこと、困ったことなどの情報を交換し、地域課題と社会資源が結びつくように情報収集しています。

ささえ愛♡美和 メンバーより ひとこと!

超高齢者社会を迎えるにあたり、現に買物難民が現実になっていることから美和地区内の八百屋さんに移動販売の話をして、地域のサロン開催時に野菜、調味料などを販売していただくことができ、一歩前進することができました。このままで終わらず、美和地区の問題点を協議し改善を図り、暮らしやすいまちづくりをすすめてたいと思います。



まちかどかつや～くネットワーク甚目寺 (略称: まちかつネット甚目寺)

目的: ～市とみんなが手をたずさえ、つながり、思いやり、心を寄せ合う助け合いの絆づくり～

「まちかつネット甚目寺」では、課題の中から『居場所づくり』をテーマに高齢者の方(特に男性)が集って茶話会などができる場所はないかと模索中。地域住民の方のアイデアやネットワークを活用して集える居場所がないかと話しあっています。



まちかつネット甚目寺 メンバーより ひとこと!

地域で抱える問題について、積極的な意見交換や提案事項が多く、また、それを実践されているメンバーもいらっしゃるため刺激的で私自身の知見が広がる、良い話しあいの場となっています。

